

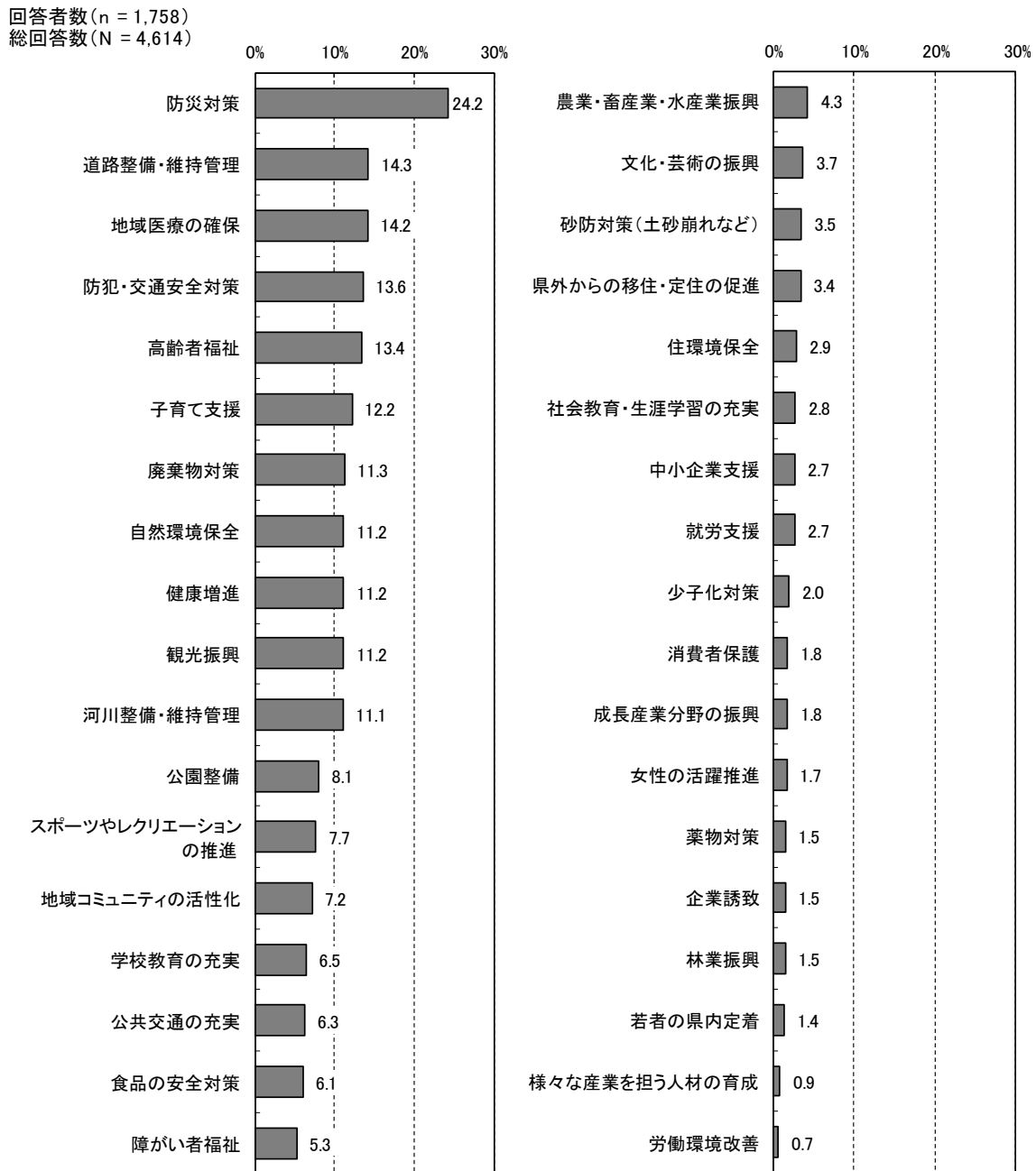
問10 県の取組でよくやっていると思う分野、努力が足りないと思う分野

問10 あなたが、県の取組についてよくやっていると思うのは、どの分野ですか。
また、努力が足りないと思うのは、どの分野ですか。（それぞれ5つまで）

【県の取組でよくやっていると思う分野】

全体（図10-1）で見ると、「防災対策」が24.2%と最も高く、次いで「道路整備・維持管理」（14.3%）、「地域医療の確保」（14.2%）の順となっている。

図10-1 県の取組でよくやっていると思う分野



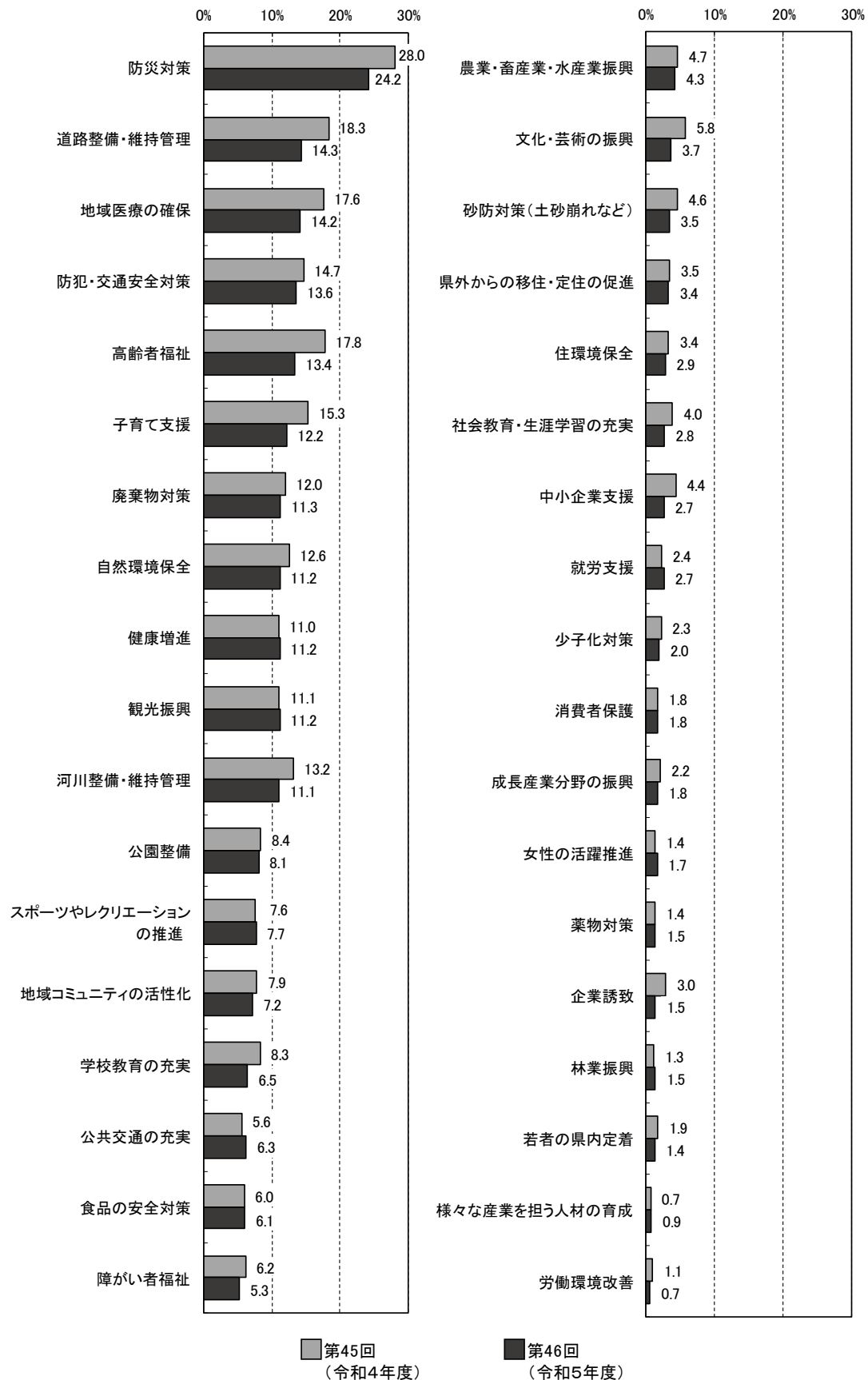
※ 成長産業: 岐阜県においては、航空宇宙、医療福祉機器、医薬品、食料品、次世代エネルギーを位置づけている。(令和5年度現在)

※ 本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。

・住環境保全: 騒音・振動・大気・土壌対策などの住環境保全

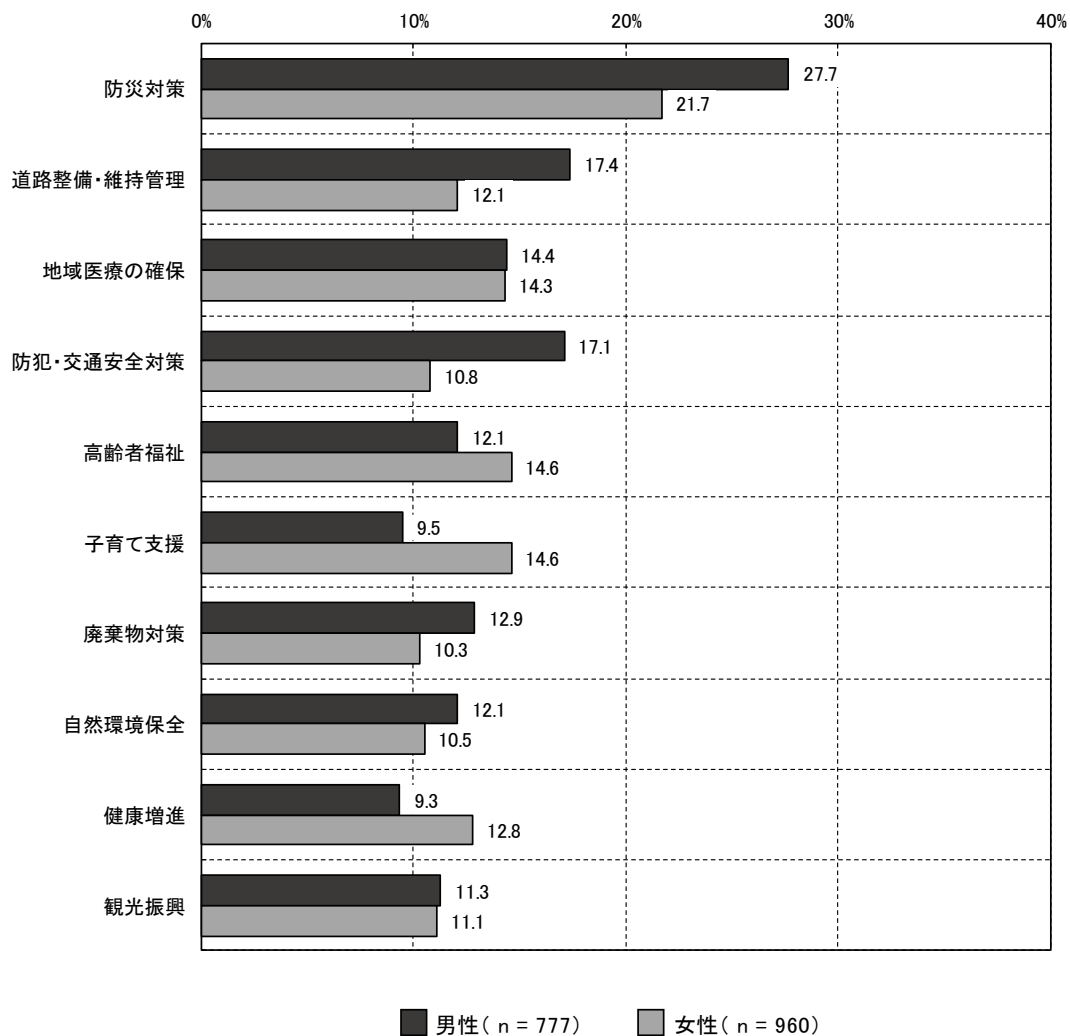
前回比較（図 10-2）で見ると、前回に続き「防災対策」が最も高く、次いで「道路整備・維持管理」となっている。前回第 4 位の「地域医療の確保」は第 3 位となっている。

図 10-2 【前回比較】県の実施策でよくやっていると思う分野



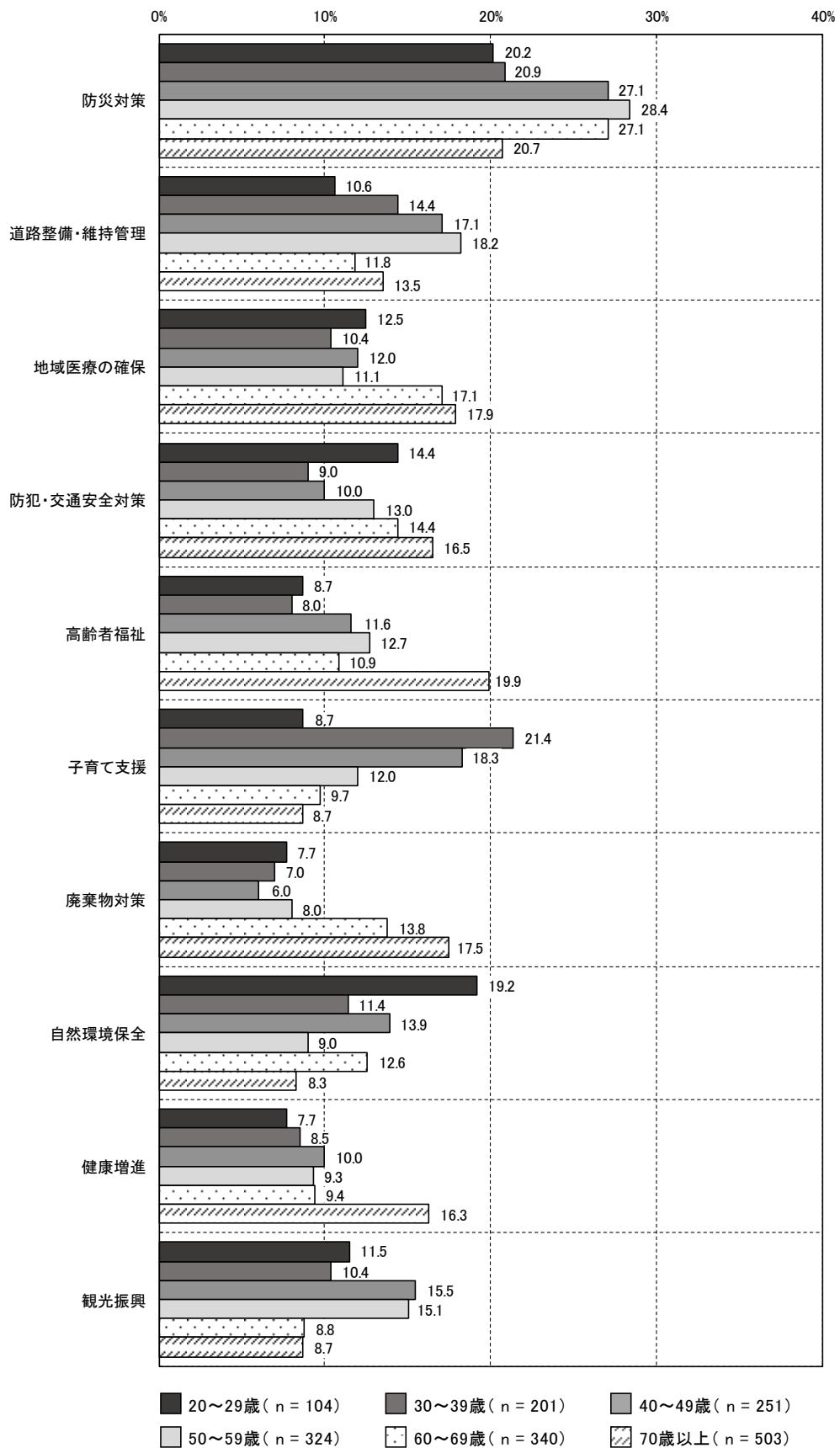
性別（図 10-3）で見ると、男女ともに「防災対策」が最も高く、次いで、男性では「道路整備・維持管理」が 17.4%、女性では「高齢者福祉」「子育て支援」がともに 14.6%となっている。

図 10-3 【性別】 県の取組でよくやっていると思う分野(上位 10 施策)



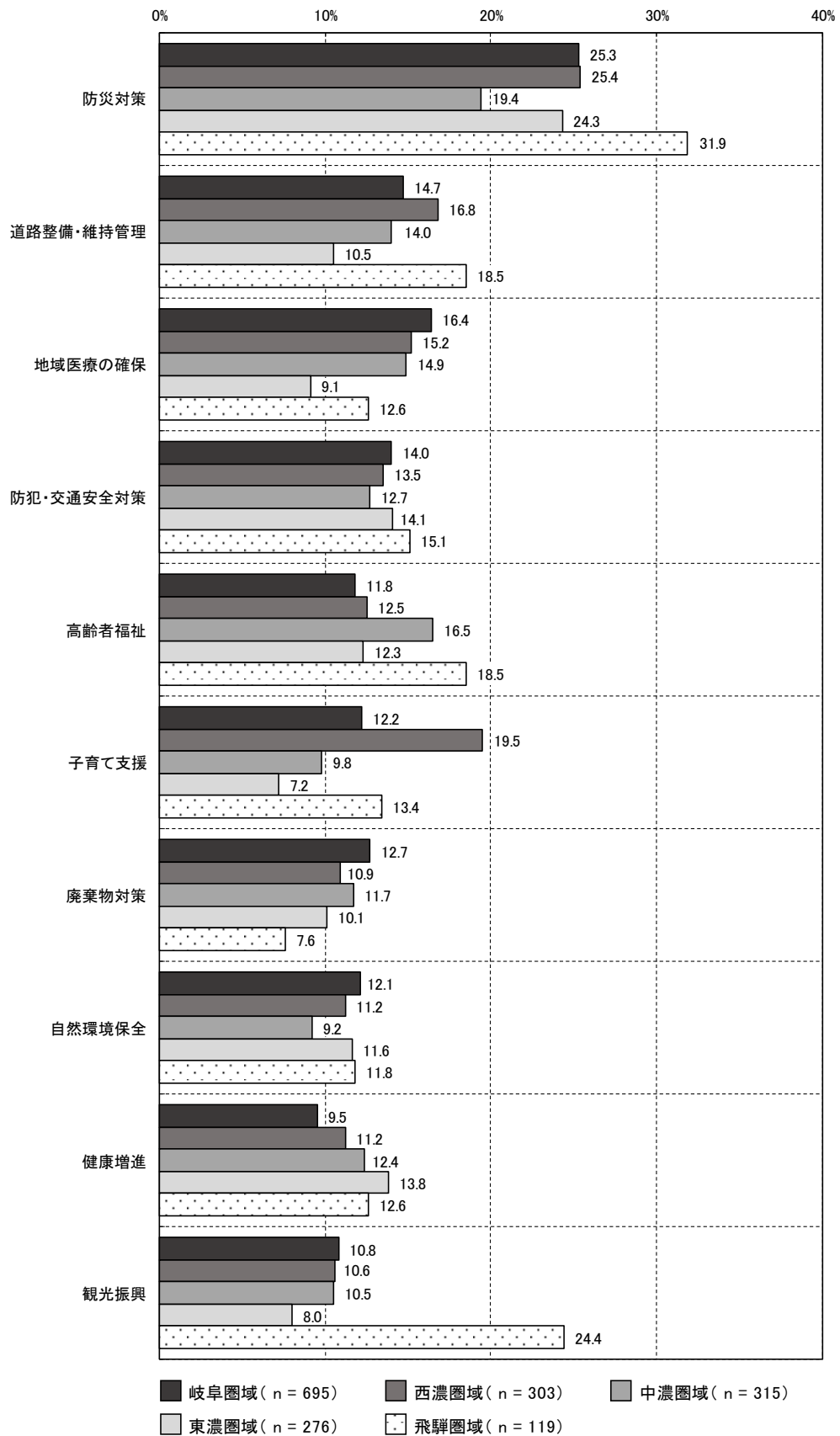
年代別（図 10-4）で見ると、30 歳代を除くすべての年代で「防災対策」が最も高く、30 歳代では「子育て支援」が最も高くなっている。

図 10-4 【年代別】 県の取組でよくやっていると思う分野(上位 10 施策)



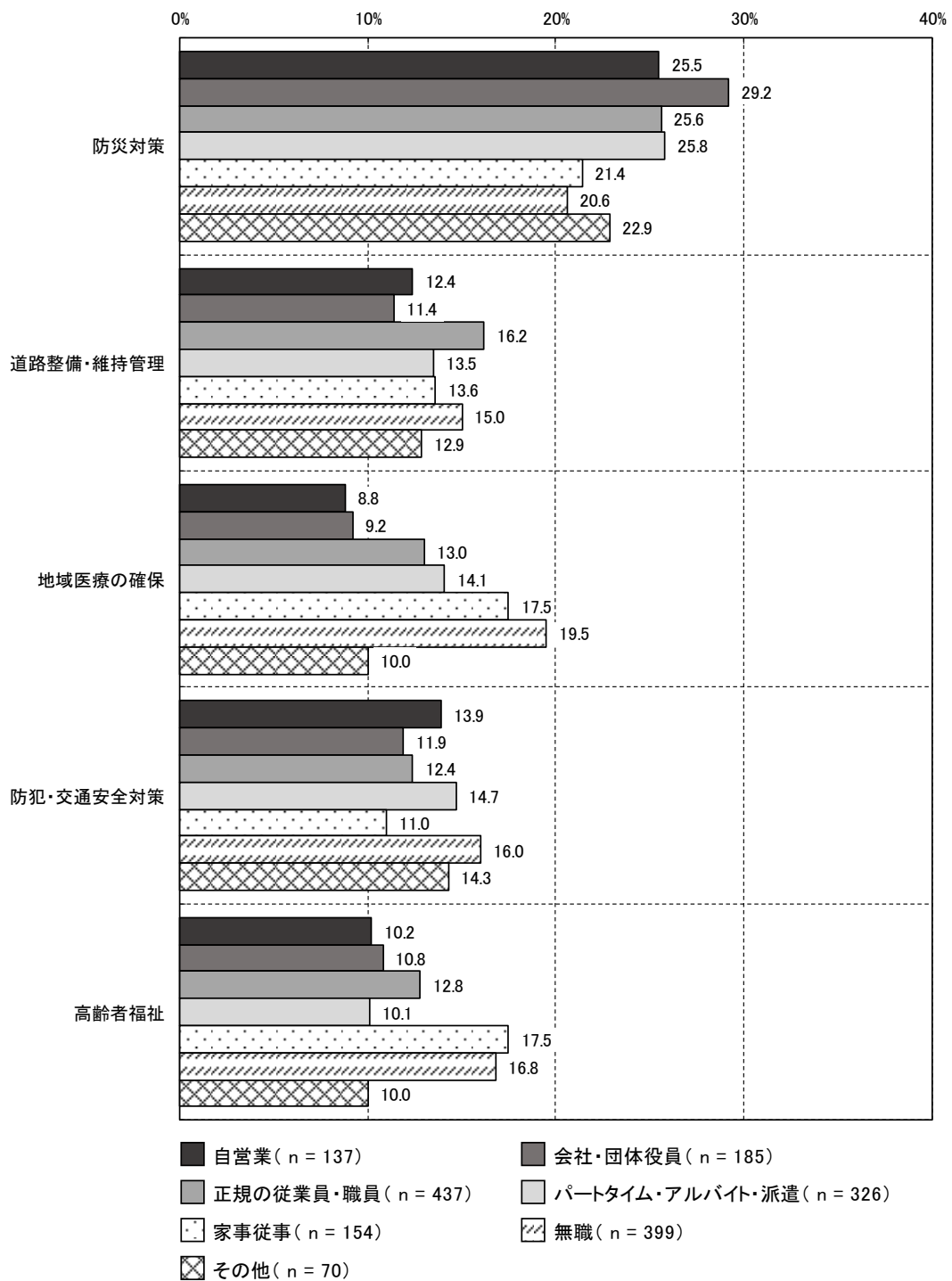
居住圏域別（図 10-5）で見ると、いずれの居住圏域においても「防災対策」が最も高くなっている。飛騨圏域では「観光振興」が24.4%と、他の圏域に比べて高くなっている。

図 10-5 【居住圏域別】 県の取組でよくやっていると思う分野(上位 10 施策)



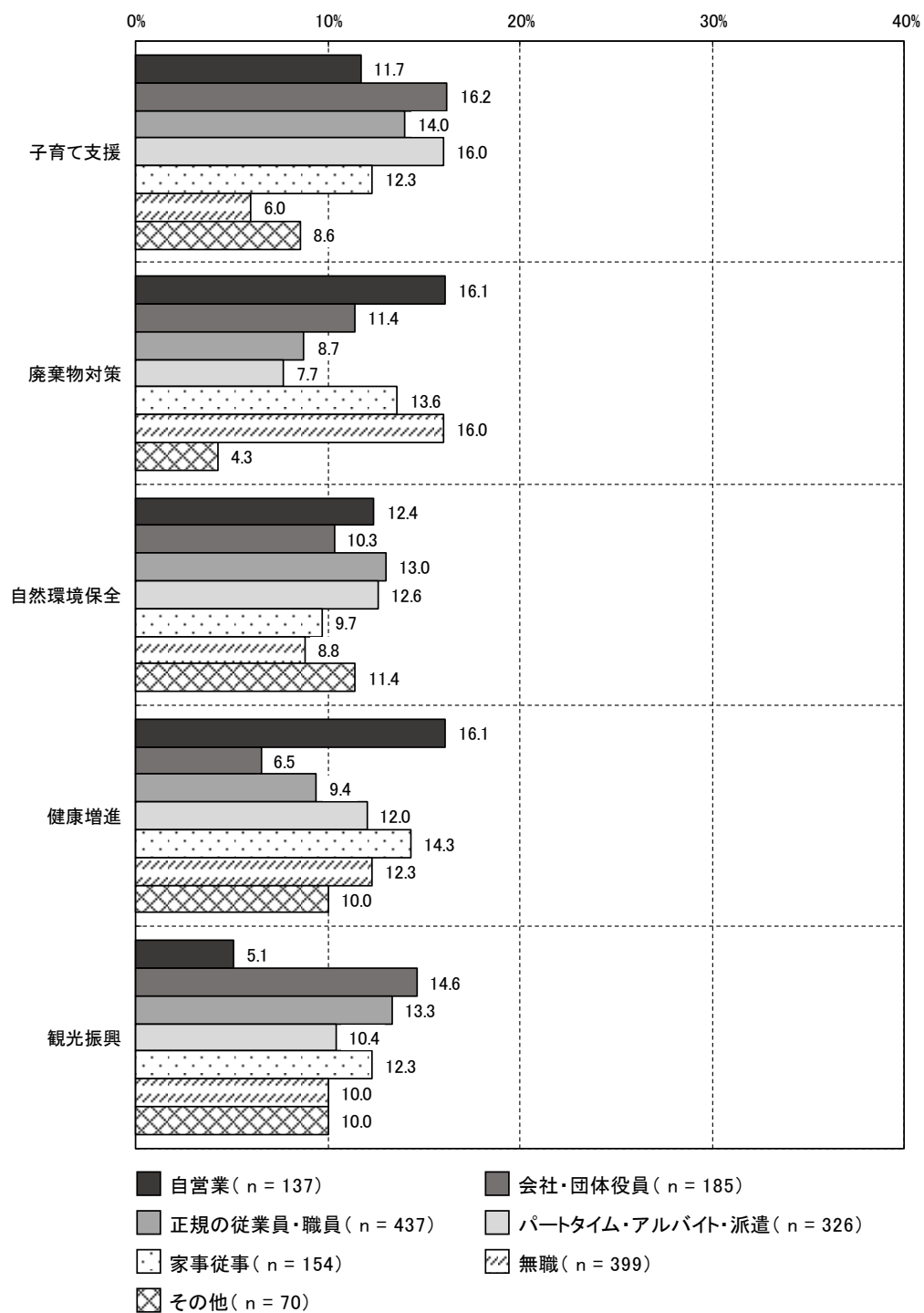
職業別（図 10-6）でみると、いずれの職業においても「防災対策」が最も高くなっている。

図 10-6 【職業別】 県の取組でよくやっていると思う分野（上位 10 施策）



※ その他には、自由業、学生を含む。

図 10-6 【職業別】 県の取組でよくやっていると思う分野(上位 10 施策) (続き)

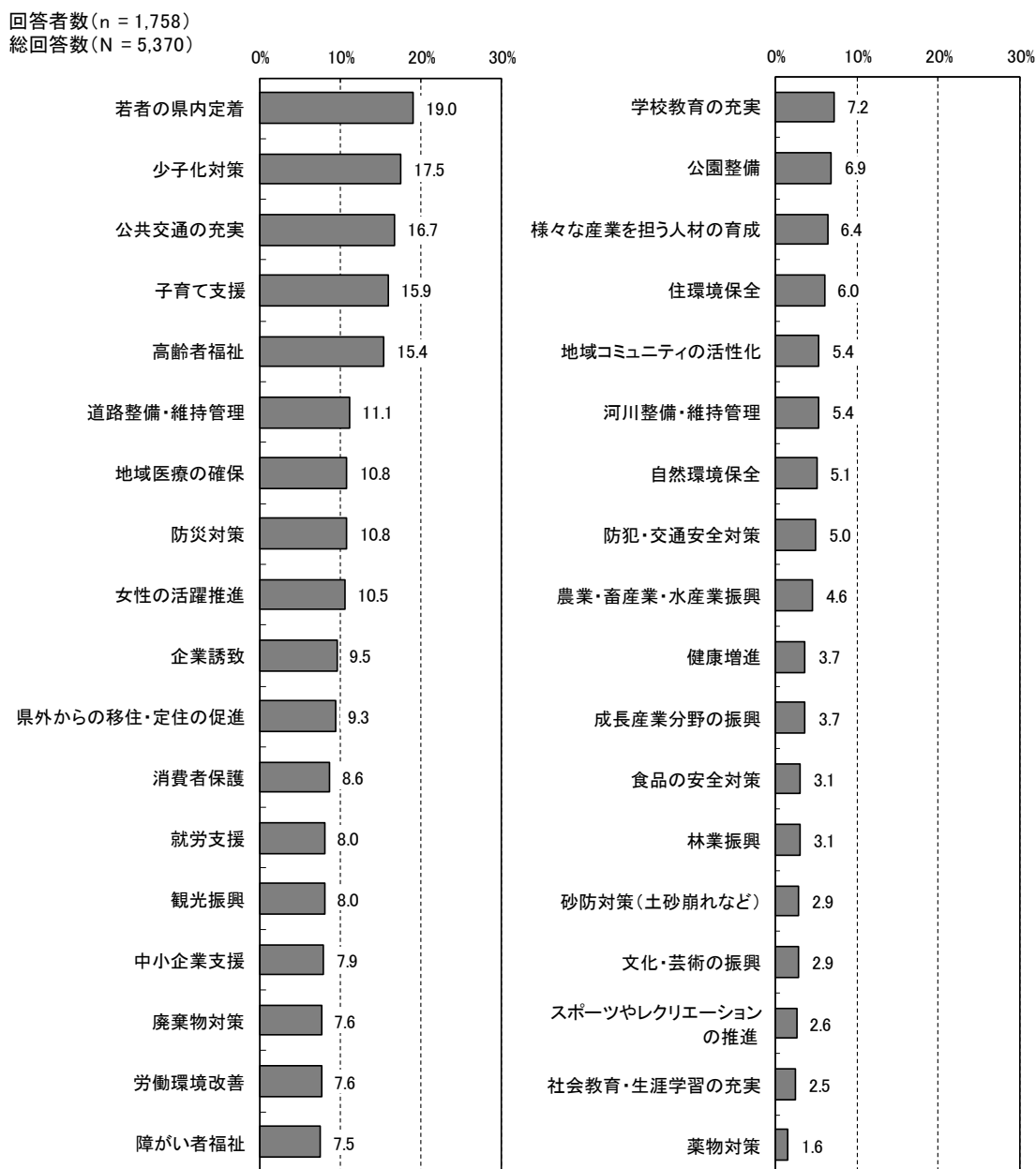


※ その他には、自由業、学生を含む。

【県の取組で努力が足りないと思う分野】

全体（図 10-2-1）で見ると、「若者の県内定着」が 19.0%と最も高く、次いで「少子化対策」（17.5%）、「公共交通の充実」（16.7%）の順となっている。

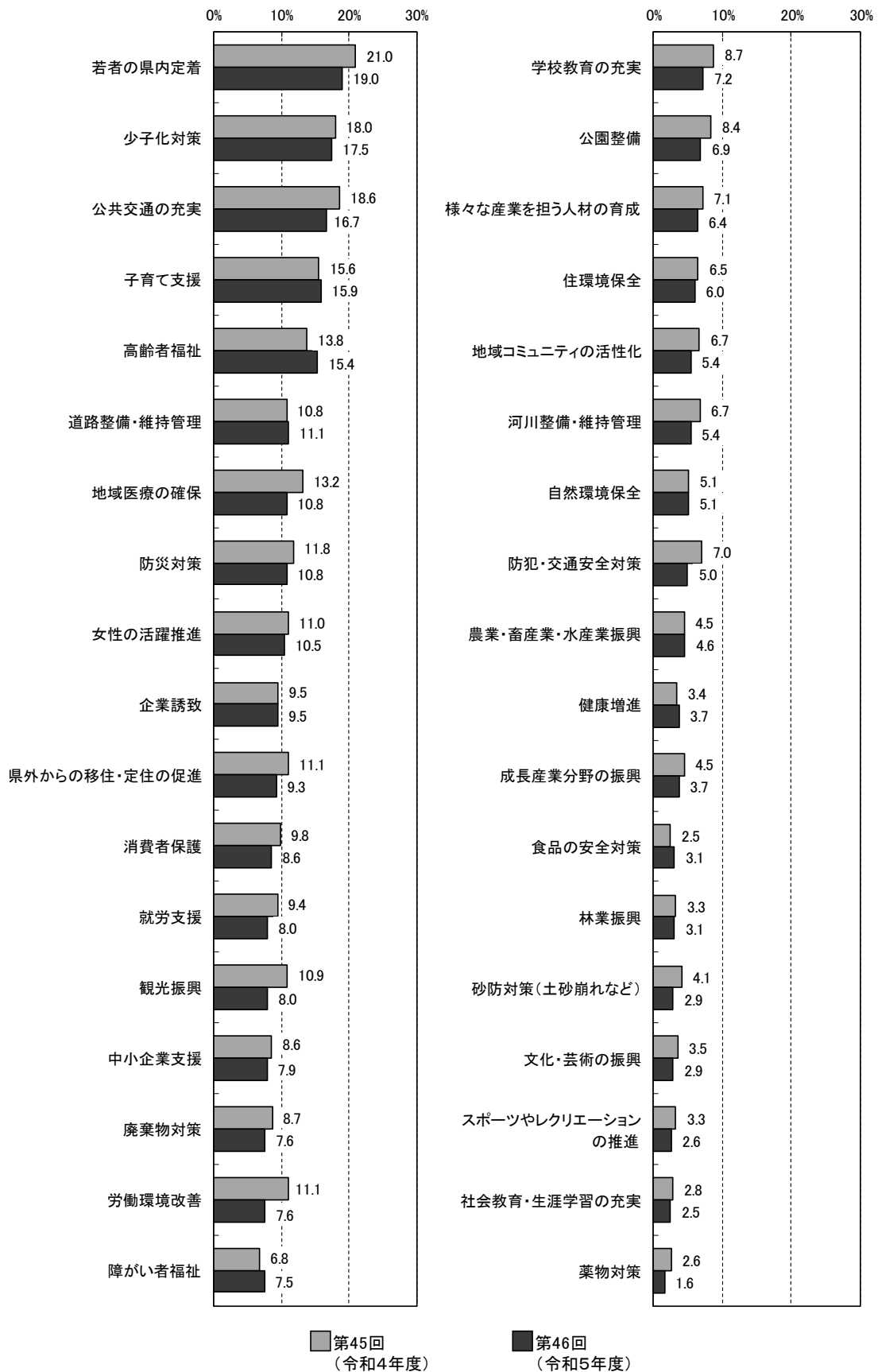
図 10-2-1 県の取組で努力が足りないと思う分野



※ 本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。
・住環境保全: 騒音・振動・大気・土壌対策などの住環境保全

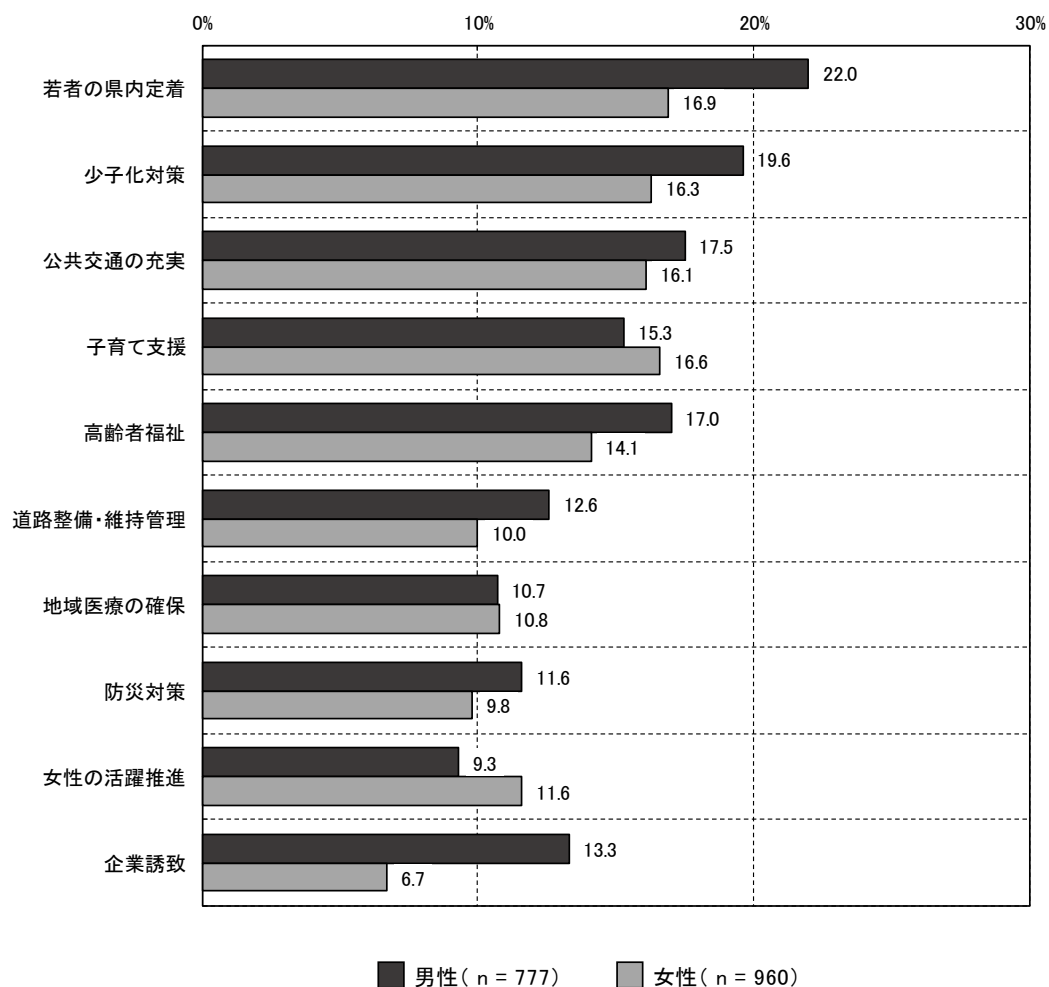
前回比較（図 10-2-2）でみると、前回・今回と一貫して「若者の県内定着」が最も高くなっている。

図 10-2-2 【前回比較】県の取組で努力が足りないと思う分野



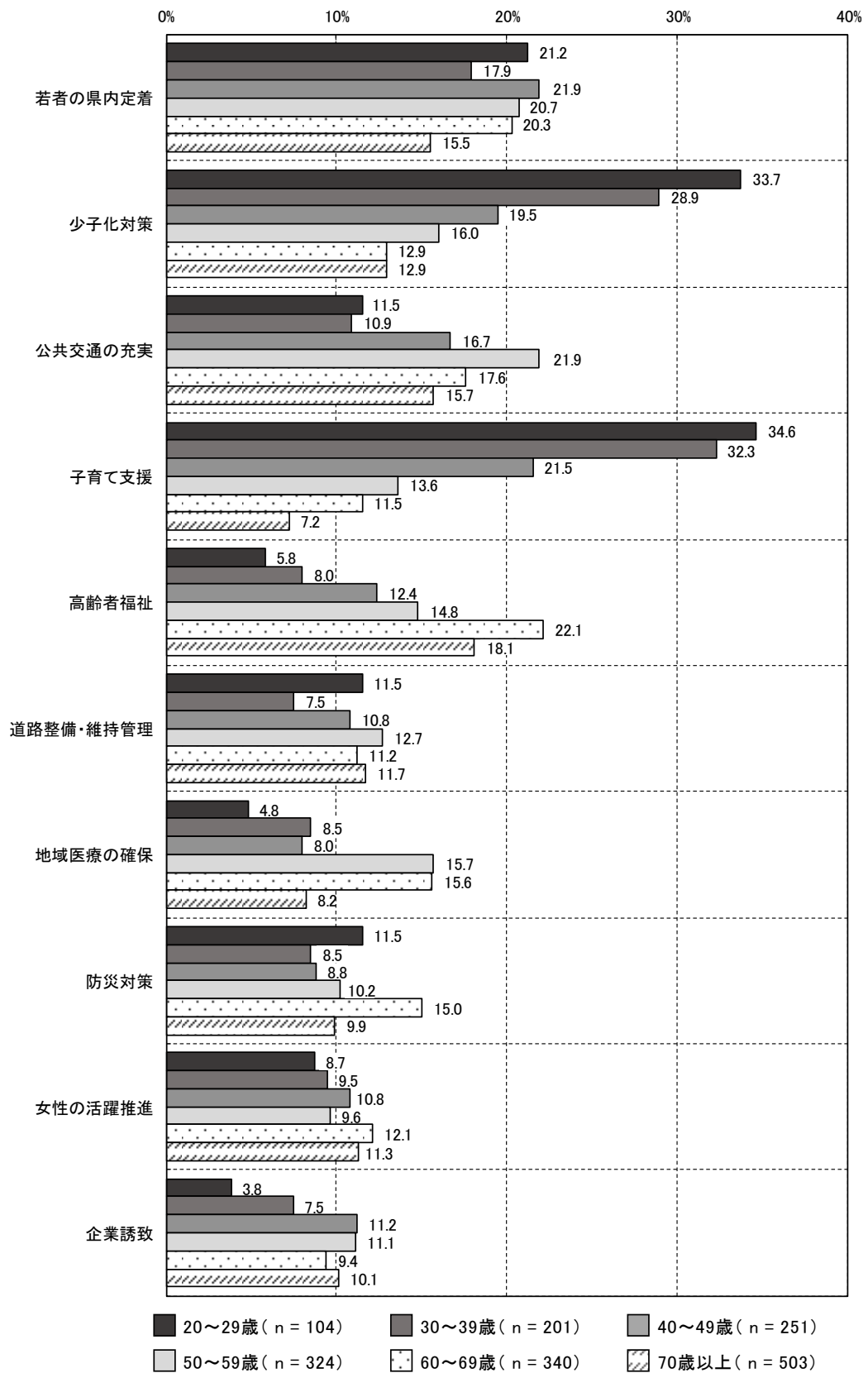
性別（図 10-2-3）で見ると、男女ともに「若者の県内定着」が最も高く、次いで、男性では「少子化対策」、「公共交通の充実」、女性では「子育て支援」、「少子化対策」の順となっている。

図 10-2-3 【性別】 県の取組で努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



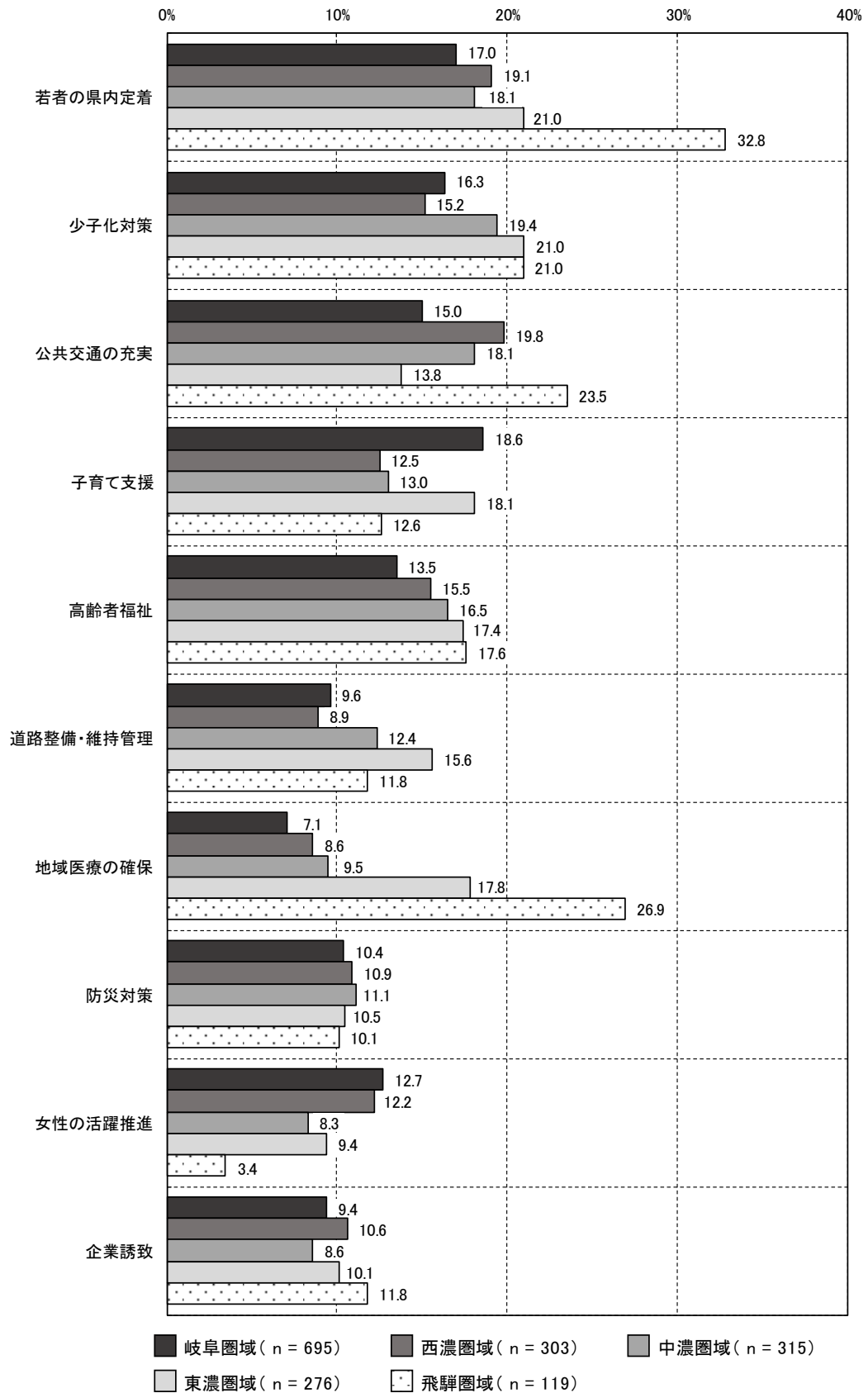
年代別（図 10-2-4）で見ると、20 歳代、30 歳代では「子育て支援」、40 歳代では「若者の県内定着」、50 歳代では「公共交通の充実」、60 歳代、70 歳以上では「高齢者福祉」が最も高くなっている。

図 10-2-4 【年代別】 県の取組で努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



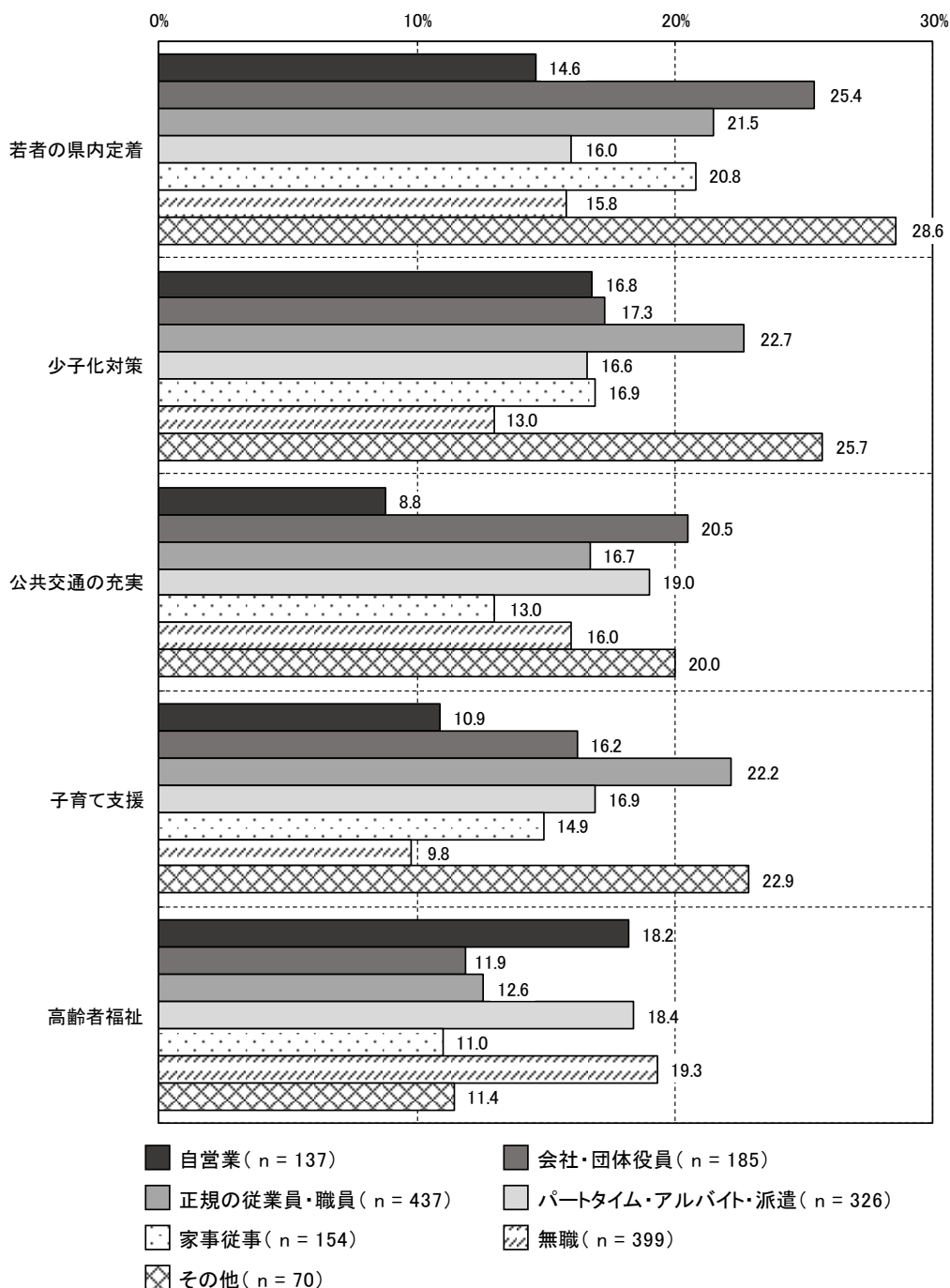
居住圏域別（図 10-2-5）でみると、岐阜圏域では「子育て支援」、西濃圏域では「公共交通の充実」、中濃圏域では「少子化対策」、東濃圏域では「若者の県内定着」「少子化対策」、飛騨圏域では「若者の県内定着」が最も高くなっている。

図 10-2-5 【居住圏域別】 県の取組で努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



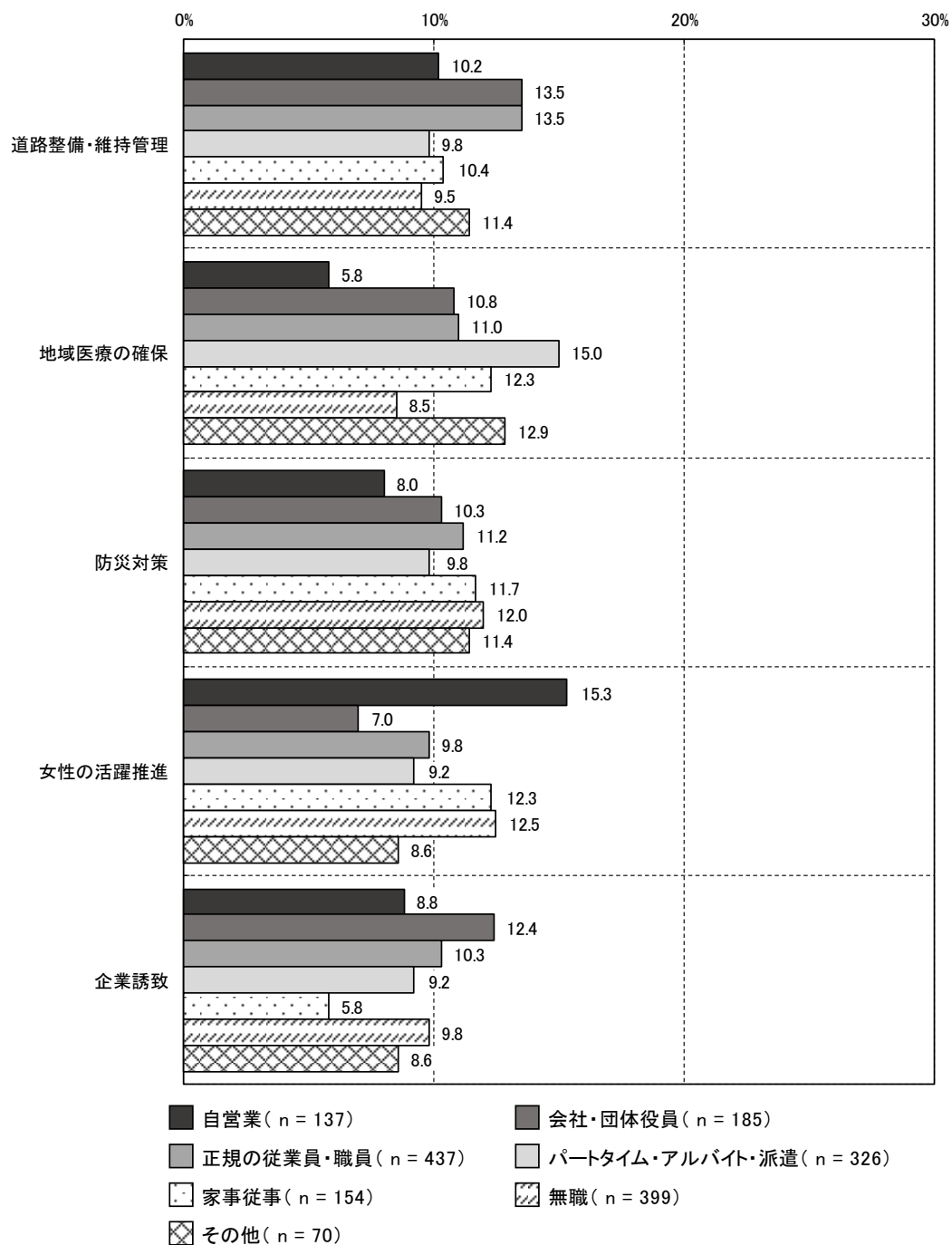
職業別（図 10-2-6）でみると、会社・団体役員、家事従事、その他では「若者の県内定着」、正規の従業員・職員では「少子化対策」、パートタイム・アルバイト・派遣では「公共交通の充実」、自営業、無職では「高齢者福祉」が最も高くなっている。

図 10-2-6 【職業別】 県の取組で努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



※ その他には、自由業、学生を含む。

図 10-2-6 【職業別】 県の実施で努力が足りないと思う分野(上位 10 施策) (続き)



※ その他には、自由業、学生を含む。